

県政だより
アワーとくしま

OUR 徳島

令和6年12月号
No.446



徳島香港直行便 11/16(土)より就航

週3便 [月・水・土曜日]
徳島 16:20発 → 香港 20:05着
香港 10:50発 → 徳島 15:20着



徳島韓国直行便 12/26(木)より就航

週3便 [火・木・土曜日]
徳島 13:05発 → ソウル(仁川) 14:50着
ソウル(仁川) 10:40発 → 徳島 12:15着



国際化始まる。徳島とつながる「関係人口」の拡大へ

空の向こうにも、徳島ファンを。

「ずっと居りたい」「いつも帰りたい」「みんな行きたい」徳島県を目指して

関西国際空港まで行かなくても、香港国際空港や仁川国際空港をハブにすることで、
徳島阿波おどり空港から世界中へアクセス可能に!世界がもっと身近になりました。

徳島から乗り継ぎなしで香港・韓国へ!
香港・韓国から世界へ!

パスポート取得支援キャンペーン

2024 応募期間 **11.16** » **3.25** 2025
①～④のすべての要件を満たす方を対象に
QUOカードPay **5,000** 円分
キャッシュバック!

- ①～④のすべての要件を満たす方が対象となります。
- ① 徳島県内居住者 ② 徳島阿波おどり空港に就航する国際定期便の搭乗者
 - ③ パスポートの発行日が2024年10月8日以降であること
 - ④ 2025年3月24日までに対象路線に搭乗していること

駐車料金が最大2,400円(4日分)無料になる「徳島空港駐車場割引キャンペーン」
もあわせて実施中。両キャンペーンの内容や条件・受け取り方法などこちらから>>>

※予算の上限に達しキャンペーンが終了したときはホームページでご案内します。



帰省される
ご家族の皆さまにも
お知らせください



新時代へ
躍り出そう

令和6年12月号 No.446 発行:徳島県生活環境部県民ふれあい課 〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
TEL088-621-2095 FAX088-621-2862 E-mail our-toku@mail.pref.tokushima.lg.jp
人口 684,774人 男 327,520人 女 357,254人 世帯数 309,908世帯 [2024年11月1日現在]

徳島県

関係人口を拡大し「未来に引き継げる徳島」を実現。

●「関係人口」とは 地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと。
関係人口が増えることで、地域経済の活性化やイノベーション、新たな価値の創造、将来的な移住者の増加などが期待できます。

九州・とくしま ゆかりの集い

徳島・福岡線就航30周年を記念して
今年9月29日、福岡県で開催されました。



明治から昭和初期、徳島から九州へ渡った九州出漁団

九州・福岡には、明治中期から昭和初期にかけて、日和佐、由岐、椿泊の漁業者が九州の海で遠洋漁業を行い、定住された歴史があります。この九州出漁団がルーツの方々をはじめ、本県ゆかりの方々に多数ご参加いただきました。



九州出漁団の子孫にあたる方々が福岡で活躍されています。



福岡博多にある九州出漁団のスクリーアのモニュメント。

新しいご縁を次の世代に

福岡徳島県人会 会長
有限会社パイルコーポレーション 代表取締役

よしづみ こうじ
吉積 浩司さん



今回、このような機会を設けていただき、心から感謝しています。「福岡に徳島の県人会があることを知らなかった」という方がいらっしゃる中、こうした交流の機会を通じて親睦を深め、新たな関係を築いていくことはとても大切です。私自身も、この集いで生まれた新しいご縁を次の世代につなげていきたいと思っています。

ふるさと徳島には、とても価値のある農産物がたくさんあります。たとえば徳島で1キロ2000円という価格で売られている“すだち”は、福岡では1万円を超えていたりする。しかも、それを買って帰るのは外国人です。まずは自分たちの近くにあるモノの価値を見つめ直すことで、可能性は拓けると思います。福岡県人会には若手の方もいらっしゃるの、これまでの知識や経験を少しでも伝えていきたいです。

動画はこちら



県人会の絆をさらに深めながら

全国徳島県人会連合会 会長
奈良徳島県人会 会長

ほん で りょういち
本出 良一さん

徳島は自然が豊かで食べ物もおいしく、訪れた人の満足度がとても高い県だという印象を持っています。阿波踊りや人形浄瑠璃、藍染めなど、世界に誇れる伝統文化もたくさんあります。まずは、このような「宝の山」がふるさとにあることを県民一人ひとりが再認識し、地元と深くつながる人や企業と一しょに「徳島ファンクラブ」をつくれれば、観光客や移住者も増えていくのではないのでしょうか。

全国には北海道から沖縄まで25、そして海外にも11の徳島県人会があります。ふるさとと深くつながり、「関係人口」のネットワークをさらに強め、ともに力を合わせることで全国そして世界に徳島の魅力を発信していきたいです。

動画はこちら



奈良県人会は奈良東大寺での阿波人形浄瑠璃公演の活動を行っています。

東京徳島県人会 県人の集い

今年10月6日、東京都で開催されました。



著名人も参加し、都市部の徳島ネットワークをさらに深化

徳島出身の方々によって組織された「東京徳島県人会」。徳島との絆を深めるため、「県人のつどい」が開催されました。柴門ふみさん(漫画家)や村田諒太さん(元プロボクサー)などの著名人をはじめ過去30年間で最高の350人にご参加いただきました。



徳島出身の県外在住大学生も多数参加。



徳島県出身の漫画家柴門ふみさんも初めて参加されました。

動画はこちら



世界を見据えた発展に期待

東京徳島県人会 会長
株式会社日立製作所 取締役会長 代表執行役

ひがしはら としあき
東原 敏昭さん

生まれてから22年間という長い年月を、徳島で過ごしました。お遍路文化が根付いた徳島は、人が優しく、共感性に満ちていることが魅力だと思います。現在、私は東京を拠点にグローバルな仕事をしていますが、ふるさとで育まれた「相手に対する思いやり」がすべての仕事の基盤となっています。

東京から見ても徳島には魅力的な観光資源や農産物が多くあり、ベンチャー企業にとっても大きな可能性を秘めた県だと感じます。今後、さらなるビジネスの拡大や、観光客の増加などを目指す上で大切になるのが、グローバルを意識した取り組みではないでしょうか。観光では世界中から人を呼び込み、農産物を世界の市場に届け、国際社会を意識したベンチャーの育成を行う。そうすることで、徳島が「世界の中での徳島」として発展していくことを期待しています。



動画はこちら



「徳島が好き」を広げたい

東京徳島県人会 副会長
日本生命保険相互会社 代表取締役社長

しみず ひろし
清水 博さん

鳴門市で生まれ、中学校を卒業後に徳島市の城南高校に入学するなど、18年間という長い年月を徳島で過ごしました。大学以降はずっと徳島を離れていますが、ふるさとへの思いは今も薄れることはありません。会社では、地域振興を一つのテーマとしながら各都道府県とさまざまな取り組みを行っています。私が生まれ育った徳島県とも協定を結び、糖尿病の患者数を下げるための活動をスタートさせています。

最近の日本ではインバウンド需要が高まっていますが、東京に住む県人会のメンバーが力を合わせることで、徳島の活性化にも貢献できると思っています。そのために必要になるのが、徳島出身の私たちが今まで以上に徳島を知り、好きになることです。今後も徳島県民としての誇りやふるさとの魅力を、一人でも多くの方に伝えられるよう頑張ります。



動画はこちら



徳島県ふるさとワーキングホリデー 徳島の魅力をまるごと体験！

参加者
募集中

県では、徳島県内に1カ月程度滞在し、農業や観光業、宿泊業などの仕事を体験する「徳島県ふるさとワーキングホリデー」の参加者を募集中。地元企業で働き収入を得ながら、地域住民との交流イベントや学びの場に参加することで、徳島の魅力にふれ、本県と深い関わりを持つ「関係人口」を増やすことを目的としています。県外在住の18歳以上であれば、学生・社会人を問わず参加することができます。

詳しくは
こちら



徳島大学公式ファンクラブ 学部を超えた交流機会を創出！

徳島大学では「徳島大学公式ファンクラブ(仮称)」を開設！徳島大学に興味・関心がある方やステークホルダー、卒業生や修了生など幅広い方が参加対象となっており、学部・学科や世代、属性を超えた交流機会の創出を目指しています。



徳島大学

海外で活躍する徳島の若者！若者同士の交流も深まっています



タイ最大の日本イベントで、徳島の大学生、高校生が阿波おどりを披露しました。



ドイツのニーダーザクセン州で、徳島の中学生、高校生がカヌー交流を行いました。

ふるさと発見！あわっ子文化大使通信

あわ文化を次の世代に伝承し、徳島の魅力を県内外に発信する「あわっ子文化大使」のレポートです。



ふるさとの宝物

●あわっ子文化大使リポーター
なかがわ ちさこ
徳島市北井上中学校 2年 中川 智紗子 さん

私のふるさと北井上には、「人形のムラ(阿波木偶箱まわし伝承館・阿波木偶文化資料館)」があります。そこでは「箱まわし」をしていて、えびす様や大黒様、お福さんなどの人形を造ることを小さい子でも教わり体験することができます。



で心ない人から差別を受けて継承者が減っていったりしたそうです。そんなつらい歴史があったけれど、素晴らしい文化をまた次の世代へと繋いでいかねばならないという阿波木

偶箱まわし保存会の方々を中心とした強い思いから、この「人形のムラ」は開かれました。いつも過ごしていた当たり前にあった文化が、戦争や差別によって壊されかけたけれど、人々の努力で、伝承できたことを私はうれしく思います。みんなを元気にしてくれる北井上の文化「箱まわし」が次の世代へと受け継がれるよう、私もこの「ふるさとの宝物」を大切に伝承していきたいと思っています。

●皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしています。
県義務教育課 ☎088-621-3054 ☎088-621-2882

すじ青のりの牡蠣グラタン



生産量全国第1位のすじ青のり。吉野川河口の養殖風景は冬の風物詩です。豊潤な香りは和洋ジャンル問わず料理を引き立てます。

●レシピ提供
県とくしまブランド推進課

レシピは
こちら



- 作り方
①塩水で洗った牡蠣に小麦粉(分量外)を薄くまぶす。サラダ油を引いたフライパンで、スライスした玉ねぎを軽く炒め、牡蠣を加えてよく焼き、ふくらしたら取り出す。
②フライパンにバターを入れ、中火にかけ、泡立ってきたら小麦粉を一気に加え、手早く混ぜる。
③牛乳を数回に分けて加えながらしっかり混ぜる。塩こしょうとすじ青のりを味を調える。
④耐熱皿に③のソース、①の順に重ね、チーズ、パン粉を散らしたら、200℃に温めたオーブンで20分焼く。仕上げにすじ青のりを散らして完成！
- 材料[2人分]
●牡蠣 150g ●玉ねぎ 1/2個 ●ピザ用チーズ 適量
●パン粉 適量 ●バター 25g ●小麦粉 25g ●牛乳1カップ
●すじ青のり 適量 ●塩こしょう 適量

お知らせ

マイナ保険証をお持ちでない方も、
これまでどおりの医療を受けられます。

- 令和6年12月2日から、現行の健康保険証は新たに発行されなくなります。
- マイナ保険証への切り替えがまだお済みでない方も、申請不要で保険者から届けられる資格確認書で引き続き保険診療を受けられます。ご安心ください。

[問]マイナンバー総合フリーダイヤル ☎0120-95-0178
県情報政策課



便利で安全な
マイナ保険証の
利用をご検討
ください。

詳しくは
こちら



みんなに、笑顔を。 広げよう、とくしま支援の輪。

苦しい生活環境にある県民の方々に、社会福祉法人やNPO法人といった「民間支援団体」が、それぞれの困りごとに寄り添う形で支援活動を行っています。こうした民間支援団体の方々が継続して活動できるよう、県では「生活支援ネットワーク」を構築。「物資の提供」や「運送」にご協力いただける事業者を「サポート事業者」として連携を図り、持続可能な仕組みづくりを行っています。

民間支援団体

県内では、100を超える団体が、居場所づくりや相談支援、食事支援など様々な形で支援活動をしています。県では、こうした民間支援団体の活動情報などを、ポータルサイトで積極的に情報発信しています。

生活支援ネットワーク

県では民間支援団体の連携を深め、多くの事業者の協力を得る「生活支援ネットワーク」を構築しています。多くの事業者が「サポート事業者」として参画いただき、それぞれの方法で民間支援団体の活動を応援しています。

生活支援ネットワーク参加団体の活動例



認定NPO法人 フードバンクとくしま

理事長 **清田 麻利子**さん

「もったいないからありがとうへ」を合い言葉に、食品ロスの削減と生活困窮者支援に取り組んでいます。企業や団体・個人から寄贈された食材を、生活の厳しい方々に提供する活動をはじめ、キッチンカーによる「移動子ども食堂」や「フードバンク農園」による就労支援も実施。食品ロス削減の講演活動も幅広く行っています。



一般社団法人 子ども未来サポートもぐ

代表理事 **内村 不二子**さん

子どもの「食」に特化し、子どもの健全な育成を目指すボランティア団体です。空腹のまま朝を迎える子どもがいない徳島県を目指して、子ども食堂の開催やフードドライブの実施、困窮家庭への食糧支援等の活動を行っています。同じ想いを持った団体や自治体、企業が連携することで、子どもたちの未来を築いていきたいです。



わかや食農デリ合同会社

代表 **浅野 雄司**さん

新鮮な野菜や果物を農産市場へ代行納品するのが、私たちの仕事です。現在は週2回の頻度で、農家様からいただいた規格外の農作物や過剰生産物を「フードバンクとくしま」に寄贈しています。同様に、板野郡内や吉野川市内の子ども食堂・フードパントリーにも寄贈しているほか、各イベントへの協賛も積極的に行っています。



サポート事業者(食品等の提供)登録のお願い

生活支援ネットワークの更なる拡大に向けて、サポート事業者として応援いただける事業者の方を募集しています。「支援の輪」拡大に、ご登録をお願いします。



サポート事業者
新規登録ページ

12月・年末支援の予定

行政機関等が休みとなる12月、困窮者の不安解消に年末支援を行う団体をご紹介します。※他の団体の活動予定は、右記ポータルサイトにて随時更新。

● **フードバンクとくしま**
12月28日(土)



ホームページ

● **子ども未来サポートもぐ**
12月26日(木)



Instagram

生活支援ネットワーク ポータルサイト



民間支援団体の方々が日々行っている活動内容や、サポート事業者として参画いただいている事業者の皆様について、「生活支援ネットワークポータルサイト」にて、積極的なPRIにも取り組んでいます。

ポータルサイトは
こちら



[問] 県地域共生推進課 ☎088-621-2166 ㊟088-621-2913

年末ジャンボ宝くじ発売中！ お買い求めはぜひ県内で！

12月21日(土)まで、年末ジャンボ宝くじが好評発売中です

● 徳島県内の売り場等で販売された宝くじの売上金のうち、約40%が収益金として徳島県の貴重な収入となり、少子高齢化対策、防災・減災対策などの事業に使われています。宝くじは、ぜひ県内でお買い求めください。



徳島県の宝くじ収益金を活用した事業のご紹介(令和5年度事業例)
児童生徒が安心・安全に学ぶことができる教育環境を確保するため、県立学校施設の長寿命化改修を行いました。

[問]「宝くじ公式サイト」または「宝くじコールセンター」まで
☎0570-01-1192(ナビダイヤル)
☎011-330-0777

県財政課
宝くじHPはこちら



このコーナーでは、随時他府県との記事交換を行っています。今回は福島県からのお便りです。

「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」 広報隊募集中！

- 福島県は東日本大震災から10年を機に策定したスローガン「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」をPRする「広報隊」を募集しています。現在、県内外の4万9千人を越える方々に登録いただいております。
- 広報隊には企業や学校、グループはもちろん、個人でも登録が可能です。スローガンに共感してくださる方々、福島県に思いを寄せ、応援してくださる方々のご登録をお待ちしております。



お申し込み
いただいた方には
広報隊グッズを
プレゼントします。

[問] 福島県広報課 ☎024-521-7124

ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま 検索



とくしま特選ブランド クイズ&プレゼント

移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のことを「〇〇人口」という。〇〇に入る文字は何でしょうか。

●プレゼント

美郷の梅酒 ホーホケキョ

[提供] 株式会社千里 東野リキュール製造場

アルコール度数を12度と低く、お酒が苦手な方でも飲みやすく、香り高くのどごしの良いお酒に仕上げました。ふわっと鼻をくすぐる芳醇な梅の香り、フルーティーな甘さとキレのある味わいをお楽しみください。

抽選で
5名様



●応募締切 12月25日(水) 必着

答え、住所、氏名、年齢、感想、取り上げて欲しいテーマなどを記入の上、はがき、Eメール(宛先は表紙下部に記載)、または県公式LINEのメニューから応募ください。11月号の正解は「こども」でした。

応募は
こちら



徳島ガンバロウズ

B3リーグ2024-2025シーズン [ホームゲーム]



12/21(土)15:00・12/22(日)13:00
会場:とくぎんトモニアリーナ



試合日程

あわとくVOICE

- 12月1日のイベントについては詳しく分かりやすく是非見に行きたいと思った。(60代)
- 県政の取り組みに加え、イベントの情報も掲載されており、生活する上での参考になります。(20代)
- 今、子育て真っ最中ですが、切れ目のない支援のおかげで安心して子育てできている様に感じます。(30代)

徳島県ホームページ



徳島県チャンネル



徳島県公式 X (旧Twitter)



徳島県公式 Facebook



徳島県公式 LINE



徳島県公式 Instagram



広報紙Web版



県民目安箱



点字版広報紙や声の広報をご希望の方は、
視聴覚障がい者支援センターへ
☎088-631-1400 ㊟088-631-1500